

第 3 章 対象事業計画の実施区域及び その周囲の概況

第3章 対象事業計画の実施区域及びその周囲の概況

対象事業実施区域及びその周囲の概況については、主に既存資料による調査結果を記載した。調査範囲は、煙突からの排ガスによる大気質への影響を考慮し、対象事業実施区域から半径5kmの範囲を基本とした。

3-1 自然的状況

3-1-1 大気質の状況

対象事業実施区域及びその周辺の大気質については、半径約5kmの範囲に存在する大気環境常時測定局のうち一般環境大気測定局（以下、「一般局」という。）の測定結果を用いて把握した。なお、自動車排出ガス測定局（以下、「自排局」という。）については、当該範囲内に存在しないことから、最寄りの自排局である葭川測定局（対象事業実施区域から約7.6km）の測定結果を用いた。

対象事業実施区域及びその周辺の各測定局等における測定項目は表3-1.1に、位置は図3-1.1に示すとおりである。以下、各項目についての大気汚染の状況を述べる。

表 3-1.1 各測定局の測定項目（平成27年度）

種別	地点番号	測定局 ^{注)}	所在地	測定項目									対象事業実施区域からの距離
				二酸化硫黄	窒素酸化物	一酸化炭素	光化学オキシダント	浮遊粒子状物質	微小粒子状物質	風向・風速	温度・湿度	ダイオキシン類	
一般局	1	大宮小学校	千葉市若葉区	-	○	-	○	○	-	○	-	-	約2.5km
	2	千城台北小学校	千葉市若葉区	○	○	-	○	○	○	○	-	○	約3.4km
自排局	3	葭川	千葉市中央区	-	○	-	-	○	-	-	-	-	約7.6km
その他	4	総合公園体育館	四街道市和田	-	-	-	-	-	-	-	-	○	約4.9km

注) 測定局名について、地点1～3は「平成27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）、地点4は「ダイオキシン類濃度測定調査結果」（四街道市ホームページ）に記載されている名称を用いている。

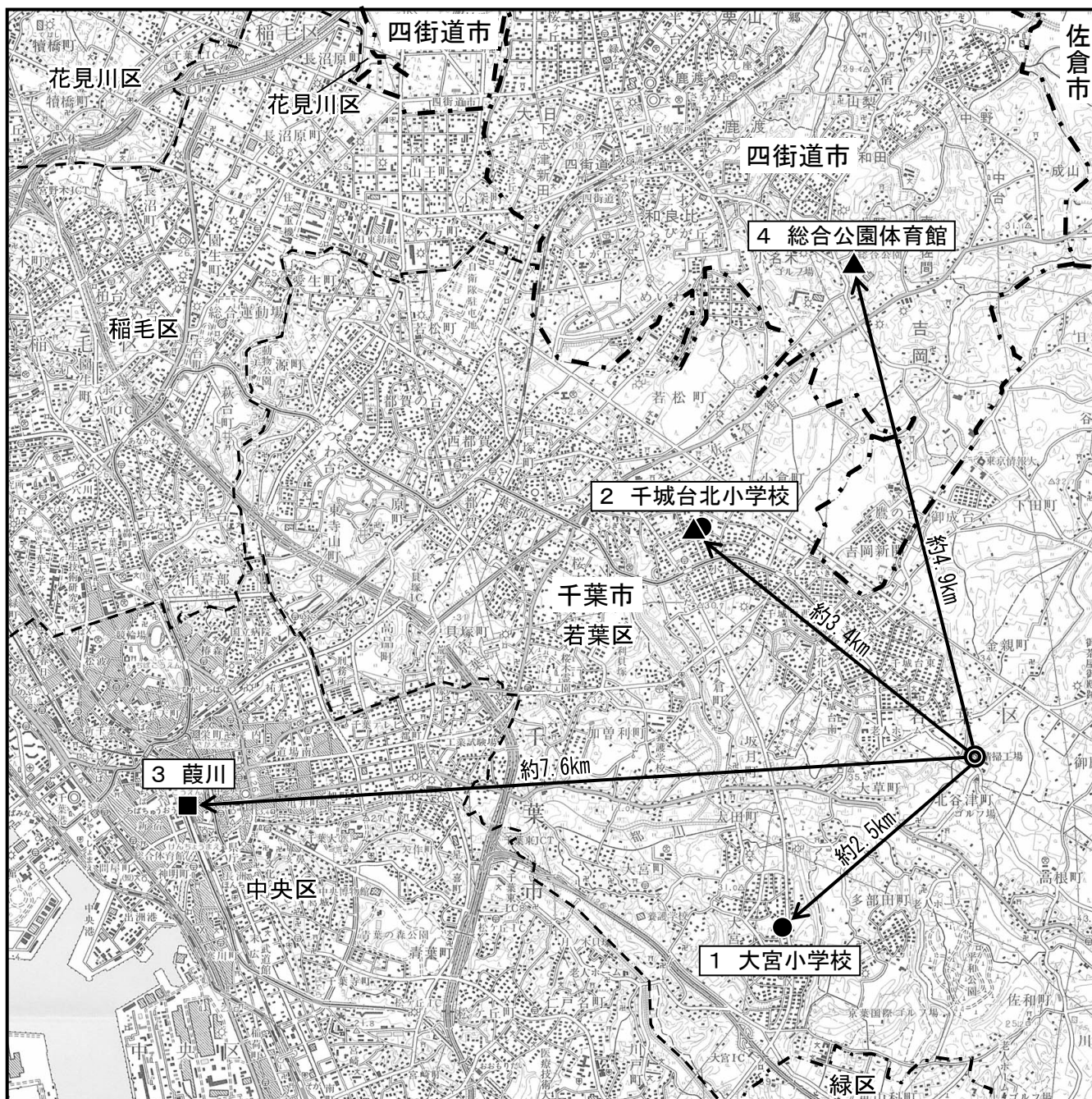
出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」（平成28年8月 千葉県）

「平成27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）

「平成27年度ダイオキシン類調査結果」（千葉市ホームページ）

「平成27年度ダイオキシン類濃度測定調査結果」（四街道市ホームページ）

「平成27年度ダイオキシン類に係る常時監視結果について」（千葉県ホームページ）



凡 例

- | | |
|------------|------------------|
| ◎ 対象事業実施区域 | ● 大気環境常時測定局（一般局） |
| - . - 市境 | ■ 大気環境常時測定局（自排局） |
| - - - 区境 | ▲ ダイオキシン類測定地点 |

出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」（平成28年8月 千葉県）
 「平成27年度大気環境測定結果」（千葉県ホームページ）
 「平成27年度ダイオキシン類調査結果」（千葉県ホームページ）
 「ダイオキシン類濃度測定調査結果」（四街道市ホームページ）
 「平成27年度ダイオキシン類に係る常時監視結果について」（千葉県ホームページ）

この地図は、国土地理院発行の1：50,000地形図「千葉」「佐倉」を使用し、1：60,000の縮尺に編集したものである。

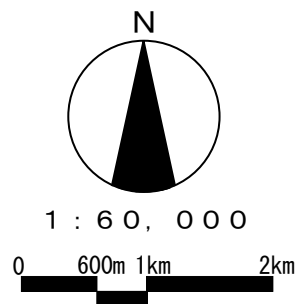


図 3-1.1 大気環境常時測定局位置図

1. 二酸化硫黄 (SO₂)

対象事業実施区域及びその周辺の大気環境常時測定局における、二酸化硫黄の平成27年度の測定結果は表3-1.2(1)に示すとおりである。また、年平均値の経年変化は表3-1.2(2)及び図3-1.2に示すとおりである。

二酸化硫黄は、千城台北小学校測定局で測定されており、日平均値の2%除外値が0.04ppm以下であり、日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したこともなく、環境基準及び千葉市環境目標値（以下、「環境目標値」という。）を達成している。

年平均値の経年変化は、横ばい傾向である。

表3-1.2(1) 二酸化硫黄年間測定結果（平成27年度）

種別	地点	測定局	年平均値	1時間値が 0.1ppmを 超えた 時間数	日平均値が 0.04ppmを 超えた日数	日平均値の 2%除外値	日平均値が 0.04ppmを 超えた日が 2日以上連続 したことの有無 (有×・無○)	環境基準の 達成状況 ^{注1)}	環境目標値の 達成状況 ^{注2)}
			(ppm)	(時間)	(日)	(ppm)			
一般局	2	千城台北小学校	0.002	0	0	0.005	○	○	○

注1) 環境基準の達成状況：○は環境基準（1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。）を達成。

注2) 環境目標値の達成状況：○は環境目標値（1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。）を達成。

出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」（平成28年8月 千葉県）

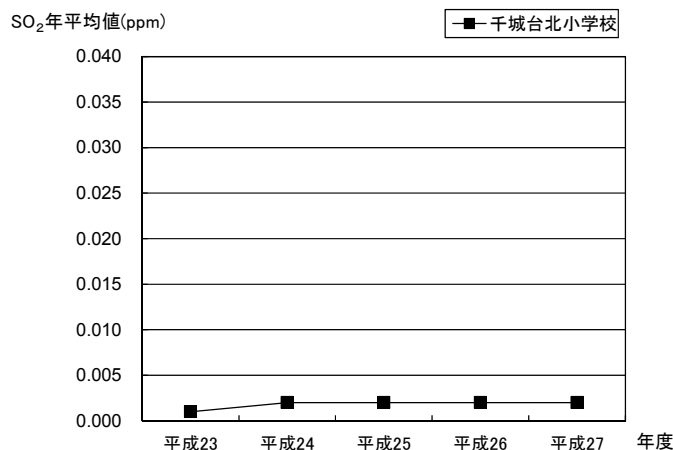
「平成27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）

表3-1.2(2) 二酸化硫黄年平均値の推移

単位：ppm

種別	地点	測定局	年度				
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
一般局	2	千城台北小学校	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002

出典：「平成23～27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）



出典：「平成23～27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）

図3-1.2 二酸化硫黄年平均値の推移

2. 二酸化窒素 (NO₂)

対象事業実施区域及びその周辺の大気環境常時測定局における、二酸化窒素の平成27年度の測定結果は、表3-1.3(1)に示すとおりである。また、二酸化窒素の年平均値の経年変化は、表3-1.3(2)及び図3-1.3に示すとおりである。

二酸化窒素は、すべての測定局で日平均値の年間98%値が0.06ppm以下であり、環境基準を達成している。また、二酸化窒素の環境目標値（1時間値の日平均値が0.04ppm以下であること。）については、大宮小学校測定局及び千城台北小学校測定局で環境目標値を達成している。

年平均値の経年変化は、各測定局とも減少傾向である。

表3-1.3(1) 二酸化窒素年間測定結果（平成27年度）

種別	地点	測定局	年平均値	日平均値の年間98%値	環境基準の 達成状況 ^{注1)}	環境目標値の 達成状況 ^{注2)}
			(ppm)	(ppm)		
一般局	1	大宮小学校	0.009	0.025	○	○
	2	千城台北小学校	0.010	0.027	○	○
自排局	3	葭川	0.024	0.041	○	×

注1) 環境基準の達成状況：○は環境基準（1時間値の1日平均値の年間98%値が0.04ppm から0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。）を達成。

注2) 環境目標値の達成状況：○は環境目標値（1時間値の1日平均値の年間98%値が0.04ppm以下であること。）を達成。×は未達成。

出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」（平成28年8月 千葉県）

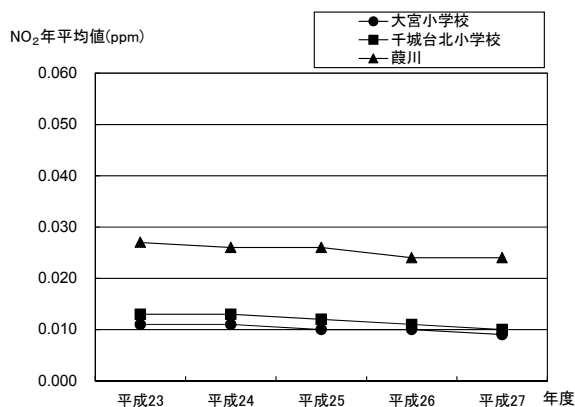
「平成27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）

表3-1.3(2) 二酸化窒素年平均値の推移

単位：ppm

種別	地点	測定局	年度				
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
一般局	1	大宮小学校	0.011	0.011	0.010	0.010	0.009
	2	千城台北小学校	0.013	0.013	0.012	0.011	0.010
自排局	3	葭川	0.027	0.026	0.026	0.024	0.024

出典：「平成23～27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）



出典：「平成23～27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）

図 3-1.3 二酸化窒素年平均値の推移

3. 光化学オキシダント

対象事業実施区域及びその周辺の大気環境常時測定局における、光化学オキシダントの平成27年度の測定結果は、表3-1.4(1)に示すとおりである。また、昼間の1時間値が0.12ppm（光化学スモッグ注意報の発令基準レベル。ただし、注意報はこの状態が継続すると判断されるときに発令される。）以上の日数の経年変化は、表3-1.4(2)に示すとおりである。

昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数は大宮小学校測定局で93日、千城台北小学校測定局で74日であり、いずれの測定局も環境基準及び環境目標値は達成されていない。また、平成23～27年度において1時間値が0.12ppmを超えた日数は1～4日となっている。

なお、光化学オキシダントについて、近年環境基準の達成状況が低いのは、当該地域特有ではなく全国的な傾向である。

表3-1.4(1) 光化学オキシダント年間測定結果（平成27年度）

種別	地点	測定局	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数		環境基準の達成状況 ^{注1)}	環境目標値の達成状況 ^{注2)}	時間達成率 ^{注3)}
			日	時間			(%)
一般局	1	大宮小学校	93	463	×	×	91.5
	2	千城台北小学校	74	330	×	×	93.9

注1) 環境基準の達成状況：×は環境基準（1時間値が0.06ppm以下であること。）を未達成。

注2) 環境目標値の達成状況：×は環境目標値（1時間値が0.06ppm以下であること。）を未達成。

注3) 時間達成率：（昼間の環境基準達成時間／昼間の測定時間）×100（％）

出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」（平成28年8月 千葉県）

「平成27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）

表3-1.4(2) 光化学オキシダントの昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数の推移

単位：日

種別	地点	測定局	年度				
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
一般局	1	大宮小学校	4	1	4	1	4
	2	千城台北小学校	2	1	1	1	3

出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」（平成28年8月 千葉県）

4. 浮遊粒子状物質（SPM）

対象事業実施区域及びその周辺の大気環境常時測定局における、浮遊粒子状物質の平成27年度の測定結果は、表3-1.5(1)に示すとおりである。また、浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化は、表3-1.5(2)及び図3-1.4に示すとおりである。

浮遊粒子状物質は、すべての測定局で環境基準及び環境目標値を達成している。

年平均値の経年変化は、いずれの測定局も概ね横ばい傾向である。

表3-1.5(1) 浮遊粒子状物質年間測定結果（平成27年度）

種別	地点	測定局	年平均値	1時間値が 0.20mg/m ³ を 超えた時間数	日平均値が 0.10mg/m ³ を 超えた日数	日平均値の 2%除外値	日平均値が 0.10mg/m ³ を 超えた日が 2日以上連続 したことの有無	環境基準の 達成状況 ^{注1)}	環境目標値の 達成状況 ^{注2)}
			(mg/m ³)	(時間)	(日)	(mg/m ³)	(有×・無○)		
一般局	1	大宮小学校	0.017	0	0	0.043	○	○	○
	2	千城台北小学校	0.025	0	0	0.054	○	○	○
自排局	3	葭川	0.021	0	0	0.045	○	○	○

注1) 環境基準の達成状況：○は環境基準（日平均値の2%除外値が0.10mg/m³以下であり、かつ、日平均値が0.10mg/m³を超えた日が2日以上連続していないこと）を達成。

注2) 環境目標値の達成状況：○は環境目標値（日平均値の2%除外値が0.10mg/m³以下であり、かつ、日平均値が0.10mg/m³を超えた日が2日以上連続していないこと）を達成。

出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」（平成28年8月 千葉県）

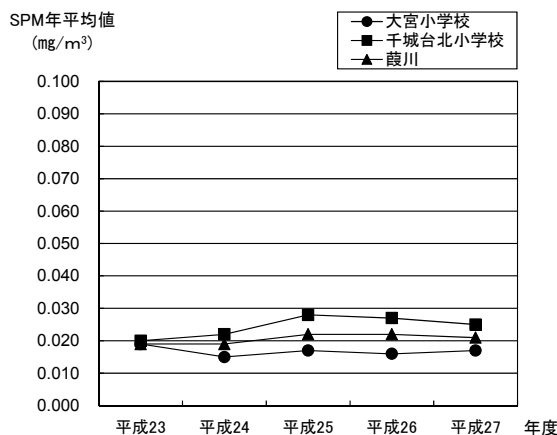
「平成27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）

表3-1.5(2) 浮遊粒子状物質年平均値の推移

単位：mg/m³

種別	地点	測定局	年度				
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
一般局	1	大宮小学校	0.019	0.015	0.017	0.016	0.017
	2	千城台北小学校	0.020	0.022	0.028	0.027	0.025
自排局	3	葭川	0.019	0.019	0.022	0.022	0.021

出典：「平成23～27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）



出典：「平成23～27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）

図3-1.4 浮遊粒子状物質年平均値の推移

5. 微小粒子状物質 (PM2.5)

対象事業実施区域及びその周辺の大気環境常時測定局における、微小粒子状物質の平成27年度の測定結果は、表3-1.6(1)に示すとおりである。また、微小粒子状物質の年平均値の経年変化は、表3-1.6(2)及び図3-1.5に示すとおりである。

微小粒子状物質は、千城台北小学校測定局で測定されており、環境基準及び環境目標値を達成している。

また、年平均値の経年変化は、平成25年度以降減少傾向にある。

表3-1.6(1) 微小粒子状物質年間測定結果（平成27年度）

種別	地点	測定局	年平均値	日平均値の年間98%値	環境基準の達成状況 ^{注1)}	環境目標値の達成状況 ^{注2)}
			($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		
一般局	2	千城台北小学校	13.0	33.5	○	○

注1) 環境基準の達成状況：○は環境基準（年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、日平均値の年間98%値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。）を達成。

注2) 環境目標値の達成状況：○は環境目標値（年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、日平均値の年間98%値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。）を達成。

出典：「平成27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）

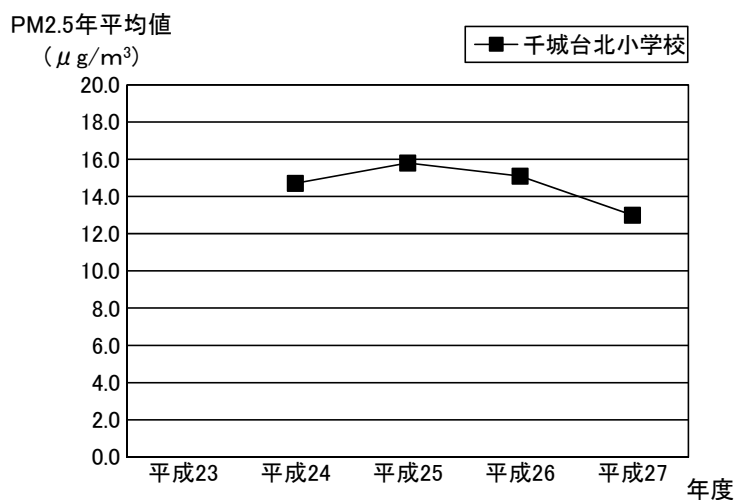
表3-1.6(2) 微小粒子状物質年平均値の推移

種別	地点	測定局	年度				
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
一般局	2	千城台北小学校	— ^{注)}	14.7	15.8	15.1	13.0

単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$

注) 千城台北小学校測定局では、平成24年度から測定が実施されている。

出典：「平成23～27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）



出典：「平成23～27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）

図3-1.5 微小粒子状物質年平均値の推移

6. ダイオキシン類

対象事業実施区域及びその周辺における、ダイオキシン類の平成27年度の測定結果は、表3-1.7(1)に示すとおりである。また、ダイオキシン類の年平均値の経年変化は、表3-1.7(2)及び図3-1.6に示すとおりである。ダイオキシン類は、いずれの測定局においても年平均値が0.6pg-TEQ/m³以下であり、環境基準を達成している。

また、年平均値の経年変化は、いずれの測定局も横ばい傾向である。

表3-1.7(1) ダイオキシン類年間測定結果（平成27年度）

単位：pg-TEQ/m³

種別	地点	測定局	測定結果			環境基準の達成状況 ^{注2)}
			夏季 ^{注1)}	冬季 ^{注1)}	年平均値	
一般局	2	千城台北小学校	0.0072	0.052	0.030	○
その他	4	総合公園体育館	0.0096	0.093	0.051	○

注1) 夏季は平成27年7月9日～7月16日、冬季は平成28年1月6日～1月13日の期間の測定結果を示している。

注2) 環境基準の達成状況：○は環境基準（年平均値が0.6pg-TEQ/m³以下であること。）を達成。

出典：「平成27年度ダイオキシン類調査結果」（千葉市ホームページ）

「平成27年度ダイオキシン類濃度測定結果」（四街道市ホームページ）

表3-1.7(2) ダイオキシン類年平均値の推移

単位：pg-TEQ/m³

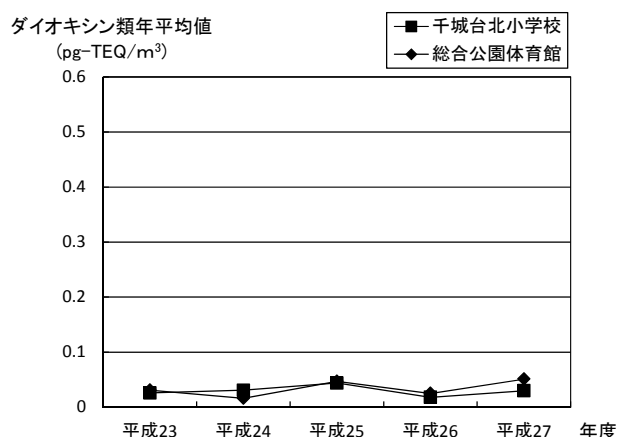
種別	地点	測定局	年度				
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
一般局	2	千城台北小学校	0.026	0.031	0.044	0.018	0.030
その他	4	総合公園体育館	0.031	0.016	0.047	0.025	0.051

注) 測定局名について、地点2は「平成23～27年度ダイオキシン類調査結果」（千葉市ホームページ）、地点4は「ダイオキシン類濃度測定調査結果」（四街道市ホームページ）に記載されている名称を用いている。

出典：「平成23～27年度ダイオキシン類に係る常時監視結果について」（千葉県ホームページ）

「平成23～27年度ダイオキシン類調査結果」（千葉市ホームページ）

「平成27年度ダイオキシン類濃度測定結果」（四街道市ホームページ）



注) 測定局名について、地点2は「平成23～27年度ダイオキシン類調査結果」（千葉市ホームページ）、地点4は「ダイオキシン類濃度測定調査結果」（四街道市ホームページ）に記載されている名称を用いている。

出典：「平成23～27年度ダイオキシン類に係る常時監視結果について」（千葉県ホームページ）

「平成23～27年度ダイオキシン類調査結果」（千葉市ホームページ）

「平成27年度ダイオキシン類濃度測定結果」（四街道市ホームページ）

図3-1.6 ダイオキシン類年平均値の推移

3-1-2 気象の状況

千葉特別地域気象観測所（対象事業実施区域から西約8.9km）における10年間（平成18～27年）の気象概況は、表3-1.8(1)～(3)に示すとおりである。なお、千葉特別地域気象観測所の概要及び位置は、表3-1.9及び図3-1.7に示すとおりである。

過去10年間の平均をみると、平均降水量は1,514.7mm（最大日降水量：238.0mm）、平均気温は20.3℃（最高気温：38.5℃、最低気温：-2.3℃）、平均風速は3.8m/秒（最大風速：24.4m/秒）となっている。

表3-1.8(1) 千葉特別地域気象観測所の気象概況（降水量）

年	項目	年間（月間） 降水量 (mm)	最大日降水量		最大時間降水量	
			(mm)	起日	(mm)	起日
平成 18 年		1,726.0	156.0	10月 6 日	28.0	1 月 14 日
平成 19 年		1,190.0	110.0	10月 27 日	33.5	9 月 12 日
平成 20 年		1,639.0	83.5	4 月 8 日	39.5	8 月 30 日
平成 21 年		1,636.5	112.5	8 月 10 日	48.5	8 月 10 日
平成 22 年		1,525.0	153.0	9 月 8 日	68.0	9 月 8 日
平成 23 年		1,258.5	92.5	10月 5 日	25.5	9 月 21 日
平成 24 年		1,614.0	64.0	10月 4 日	54.5	10月 5 日
平成 25 年		1,446.5	238.0	10月 16 日	61.5	10月 16 日
平成 26 年		1,495.5	112.5	6 月 6 日	52.5	7 月 19 日
平成 27 年		1,615.5	117.0	9 月 10 日	45.0	7 月 3 日
	1 月	91.5	35.0	1 月 15 日	12.0	1 月 15 日
	2 月	62.0	21.0	2 月 26 日	5.5	2 月 26 日
	3 月	103.0	29.0	3 月 1 日	8.5	3 月 1 日
	4 月	118.5	35.0	4 月 13 日	7.0	4 月 14 日
	5 月	72.5	25.5	5 月 21 日	17.5	5 月 21 日
	6 月	161.5	49.5	6 月 23 日	40.0	6 月 23 日
	7 月	255.0	115.5	7 月 3 日	45.0	7 月 3 日
	8 月	105.0	33.0	8 月 17 日	21.0	8 月 14 日
	9 月	403.5	117.0	9 月 10 日	24.0	9 月 6 日
	10 月	62.0	35.5	10月 2 日	28.5	10月 2 日
	11 月	129.0	26.0	11月 26 日	8.0	11月 26 日
	12 月	52.0	22.5	12月 11 日	9.0	12月 3 日
全期間		平均 1,514.7	最大 238.0	—	最大 68.0	—

出典：「各種データ・資料」（気象庁ホームページ）をもとに作成

表3-1.8(2) 千葉特別地域気象観測所の気象概況（気温）

年	項目 年間（月間） 平均気温 （℃）	最高気温		最低気温	
		（℃）	起日	（℃）	起日
平成 18 年	19.8	35.6	8 月 5 日	-2.3	2 月 5 日
平成 19 年	20.6	37.4	8 月 11 日	-0.2	2 月 25 日
平成 20 年	20.0	35.3	8 月 4 日	-1.0	2 月 18 日
平成 21 年	20.1	33.7	7 月 16 日	0.2	1 月 16 日
平成 22 年	20.5	37.3	7 月 21 日	-1.1	2 月 4 日
平成 23 年	20.2	36.3	8 月 12 日	-1.2	1 月 31 日
平成 24 年	19.8	35.4	8 月 17 日	-1.9	1 月 31 日
平成 25 年	20.7	38.4	8 月 11 日	-0.9	2 月 25 日
平成 26 年	20.3	35.0	7 月 25 日	-1.6	2 月 6 日
平成 27 年	20.6	38.5	8 月 7 日	-0.8	2 月 10 日
1 月	6.5	17.2	1 月 6 日	0.0	1 月 29 日
2 月	6.2	19.9	2 月 23 日	-0.8	2 月 23 日
3 月	10.5	21.1	3 月 31 日	1.4	3 月 31 日
4 月	14.5	24.0	4 月 23 日	1.8	4 月 28 日
5 月	21.0	31.6	5 月 31 日	11.7	5 月 31 日
6 月	22.2	29.8	6 月 24 日	13.6	6 月 25 日
7 月	26.3	35.4	7 月 9 日	19.1	7 月 14 日
8 月	26.8	38.5	8 月 7 日	19.3	8 月 6 日
9 月	23.0	30.2	9 月 5 日	16.7	9 月 2 日
10 月	19.0	28.9	10 月 2 日	10.7	10 月 26 日
11 月	14.7	23.6	11 月 9 日	5.6	11 月 28 日
12 月	10.1	23.9	12 月 11 日	1.7	12 月 29 日
全期間	平均 20.3	最高 38.5	—	最低 -2.3	—

出典：「各種データ・資料」（気象庁ホームページ）をもとに作成

表3-1.8(3) 千葉特別地域気象観測所の気象概況（風速及び年間日照時間）

年	項目 年間（月間） 平均風速 （m/秒）	最大風速			年間（月間） 日照時間 （時間）
		（m/秒）	風向	起日	
平成 18 年	3.8	19.2	南西	3 月 17 日	1,623.5
平成 19 年	3.8	20.9	南東	9 月 6 日	1,980.2
平成 20 年	3.6	17.9	北西	2 月 24 日	1,873.2
平成 21 年	3.9	19.7	南西	10 月 8 日	1,701.2
平成 22 年	4.0	24.4	南南西	3 月 21 日	1,931.8
平成 23 年	3.9	21.4	南南西	9 月 21 日	2,082.6
平成 24 年	3.7	22.2	南南西	6 月 20 日	2,039.3
平成 25 年	4.0	20.3	北西	10 月 16 日	2,135.3
平成 26 年	3.7	22.2	西	10 月 6 日	2,113.4
平成 27 年	3.8	18.3	南南西	12 月 11 日	2,034.1
1 月	4.1	15.0	南西	1 月 6 日	190.1
2 月	3.7	14.4	北西	2 月 15 日	166.5
3 月	4.1	13.4	西南西	3 月 1 日	188.6
4 月	4.2	15.5	南南西	4 月 3 日	149.3
5 月	4.1	18.0	南南東	5 月 12 日	237.2
6 月	3.4	9.9	北北西	6 月 4 日	145.8
7 月	4.5	17.2	南西	7 月 1 日	201.5
8 月	3.8	11.4	南南西	8 月 18 日	159.1
9 月	3.5	11.4	南南西	9 月 2 日	122.4
10 月	3.6	17.5	南南西	10 月 2 日	192.1
11 月	3.0	14.8	西南西	11 月 27 日	124.1
12 月	3.2	18.3	南南西	12 月 11 日	157.4
全期間	平均 3.8	最大 24.4	—	—	平均 1,951.5

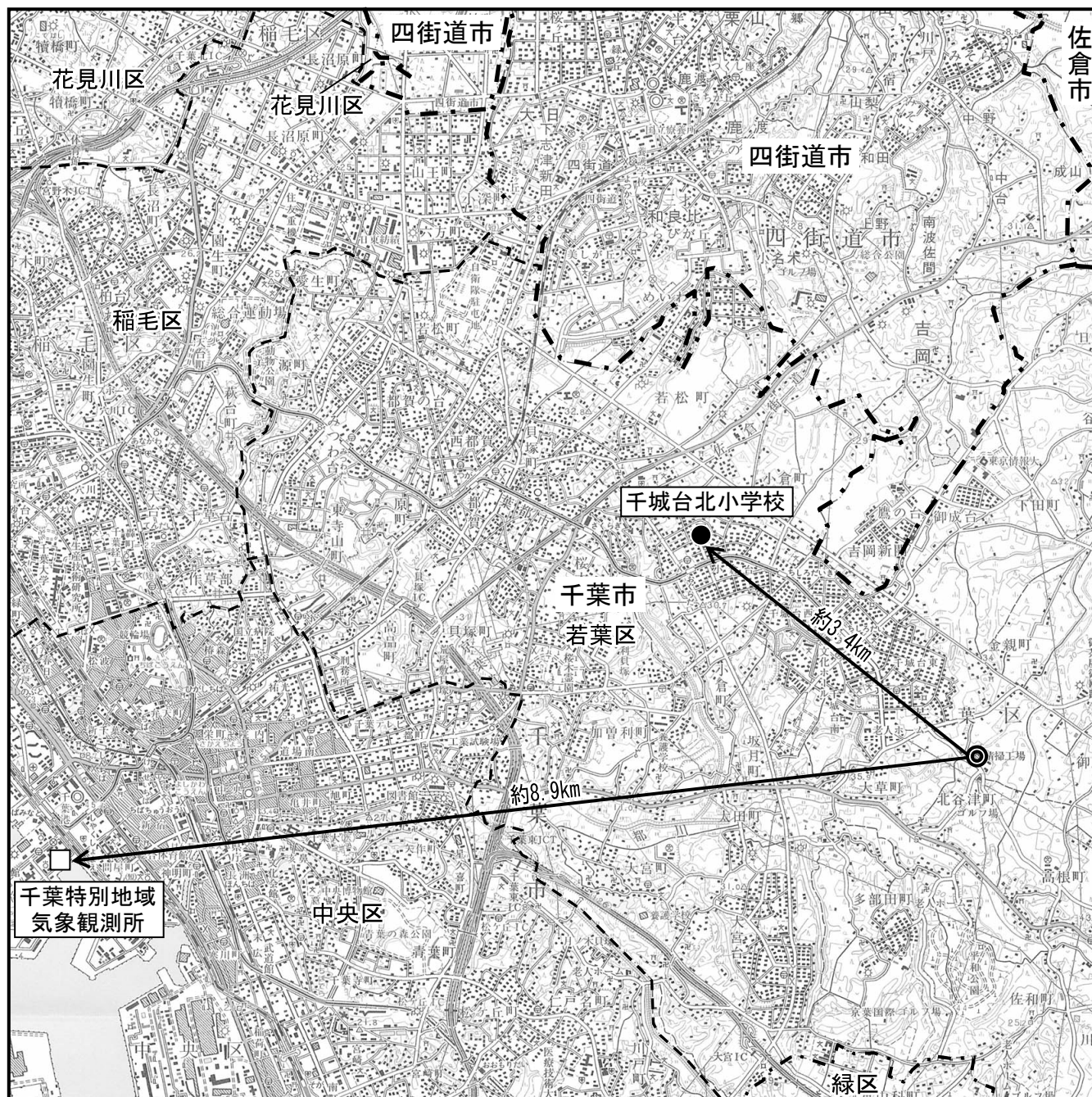
注）---：観測所の移転、観測方法の変更、測器の変更などの理由により、観測データがこの前後で均質でない可能性がある。

出典：「各種データ・資料」（気象庁ホームページ）をもとに作成

表3-1.9 千葉特別地域気象観測所の概要

所在地	北緯	東経	観測所の 標高	風速計の 地上高さ	観測開始年月日
千葉市中央区 中央港	35度36.1分	140度6.2分	3 m	47.9m	昭和56年3月30日

出典：「地域気象観測所一覧」（気象庁ホームページ）



凡 例

◎ 対象事業実施区域 - - - 市境 - - - 区境

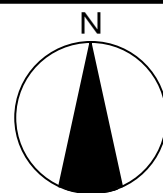
出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」（平成28年8月 千葉県）

「平成27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）

「地域気象観測所一覧」（気象庁ホームページ）

この地図は、国土地理院発行の1：50,000地形図「千葉」「佐倉」を使用し、1：60,000の縮尺に編集したものである。

図 3-1.7 対象事業実施区域周辺の気象観測地点

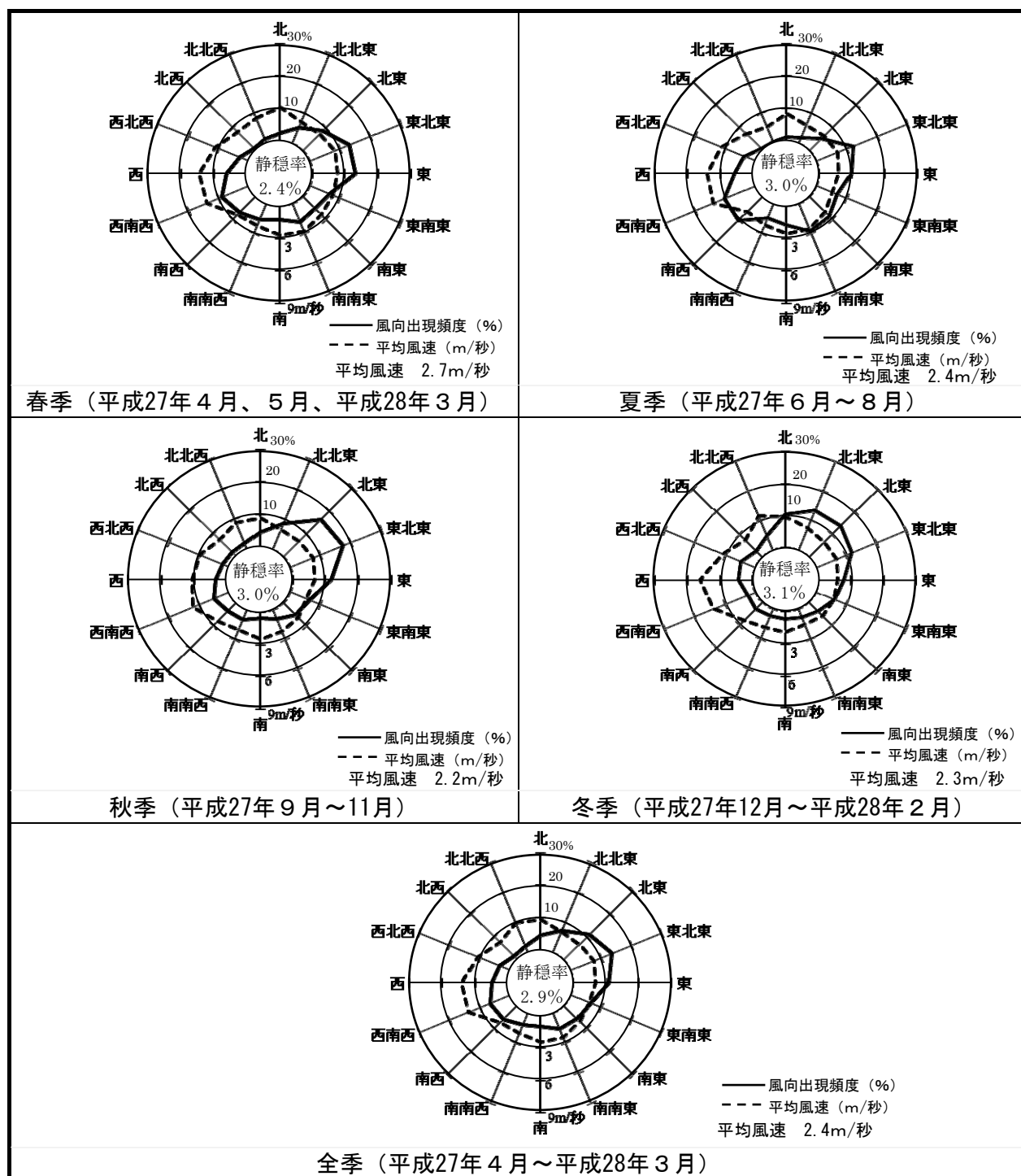


1 : 60,000

0 600m 1km 2km

また、対象事業実施区域及びその周辺における風の状況は、対象事業実施区域と風の状況が類似していると考えられる千城台北小学校測定局（一般局）を用いて把握した。千城台北小学校測定局における平成27年度の季節別風配図は、図3-1.8に示すとおりである。全季の風配図を見ると、平均風速は2.4m/秒であり、東北東の風が多くなっている。

なお、千城台北小学校測定局の位置は、図3-1.7に示したとおりである。



注1) 静穏：0.2m/秒以下

注2) 測定局名については、「平成27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）に記載されている名称を用いている。

出典：「千葉県大気環境常時監視リアルタイム表示システム常時監視データ（過去データ）」（千葉県ホームページ）をもとに作成
「平成27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）

図3-1.8 千城台北小学校測定局における風配図

3-1-3 水質の状況

対象事業実施区域及びその周辺において実施されている公共用水域の水質測定地点は、表3-1.10及び図3-1.9に示すとおりである。平成27年度の測定結果は、表3-1.11(1)、(2)に示すとおりである。

人の健康の保護に関する環境基準は全公共用水域に、生活環境の保全に関する環境基準は類型指定されている水域に適用される。

測定結果をみると、下泉橋の大腸菌群数を除くすべての項目が環境基準及び環境目標値に適合している。

表3-1.10 公共用水域水質測定地点（平成27年度）

区分	水域名	地点番号	地点名	環境基準類型 ^{注)}	調査機関名
				BOD等	
河川	都川	1	青柳橋	E	千葉市
		2	新都川橋	—	
		3	辺田前橋	—	
		4	高根橋	E	
	鹿島川	5	下泉橋	A	
		6	中田橋	—	
		7	富田橋	—	

注) 生活環境の保全に関する環境基準（生活環境項目）は類型指定されている水域に適用され、人の健康の保護に関する環境基準（健康項目）は全公共用水域に適用される。

出典：「平成27年度公共用水域水質調査結果」（千葉市ホームページ）



凡 例

- | | | | |
|-------|----------|---|------|
| ◎ | 対象事業実施区域 | — | 河川 |
| - . - | 市境 | ■ | 貯水池等 |
| - - - | 区境 | | |
| ● | 水質測定地点 | | |

出典：「平成 27 年度公共用水域水質調査結果」（千葉市ホームページ）

この地図は、国土地理院発行の 1 : 50,000 地形図「千葉」「東金」を使用し、1 : 60,000 の縮尺に編集したものである。

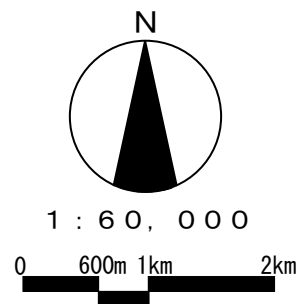


図 3-1.9 公共用水域水質測定地点図

表3-1.11(1) 公共用水域の水質測定結果（平成27年度）

項 目			測定地点名	河川				環境基準	環境目標値		
				都川					青柳橋・高根橋	新都川橋	辺田前橋
				青柳橋	新都川橋	辺田前橋	高根橋				
環境基準類型		BOD等	E	—	—	E	E	—	—	—	
生活環境項目	pH		7.7	7.6	7.5	7.7	6.5～8.5	—	—	—	
	DO	(mg/L)	9.3	8.9	8.5	8.9	2以上	7.5以上	5以上	5以上	
	BOD	(mg/L)	1.7	1.0	2.1	1.1	10以下	3以下	3以下	5以下	
	COD	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	
	SS	(mg/L)	5	4	5	4	ごみ等の浮遊が認められないこと。	—	—	—	
	大腸菌群数	(MPN/100mL)	—	—	—	—	—	1,000以下	5,000以下	5,000以下	
	N-ヘキサン抽出物質	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全窒素	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全リン	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全亜鉛	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	
健康項目	カドミウム	(mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003以下	0.003以下			
	全シアン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと	検出されないこと			
	鉛	(mg/L)	<0.001	0.002	<0.001	0.002	0.01以下	0.01以下			
	六価クロム	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05以下	0.05以下			
	砒素	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01以下	0.01以下			
	総水銀	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005以下	0.0005以下			
	アルキル水銀	(mg/L)	—	—	—	—	検出されないこと	検出されないこと			
	PCB	(mg/L)	—	—	—	—	検出されないこと	検出されないこと			
	ジクロロメタン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02以下	0.02以下			
	四塩化炭素	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002以下	0.002以下			
	1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004以下	0.004以下			
	1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1以下	0.1以下			
	シス-1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04以下	0.04以下			
	1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下	1以下			
	1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006以下	0.006以下			
	トリクロロエチレン	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下	0.01以下			
	テトラクロロエチレン	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下	0.01以下			
	1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002以下	0.002以下			
	チウラム	(mg/L)	—	—	—	—	0.006以下	0.006以下			
	シマジン	(mg/L)	—	—	—	—	0.003以下	0.003以下			
	チオベンカルブ	(mg/L)	—	—	—	—	0.02以下	0.02以下			
	ベンゼン	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下	0.01以下			
	セレン	(mg/L)	—	—	—	—	0.01以下	0.01以下			
	ふっ素	(mg/L)	—	—	—	—	0.8以下	0.8以下			
	ほう素	(mg/L)	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下	1以下			
	1,4-ジオキサン	(mg/L)	—	—	—	—	0.05以下	0.05以下			
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素		(mg/L)	2.8	2.1	2.8	3.1	10以下	10以下		

注1) 表中の値のBODは年間75%値、全シアンは最高値、その他は年平均値を示している。

注2) 表中の は、環境基準を超過していることを示している。

出典：「平成27年度公共用水域水質調査結果」（千葉市ホームページ）

表3-1.11(2) 公共用水域の水質測定結果（平成27年度）

項 目		測定地点名	河川			環境基準	環境目標値
			鹿島川				下泉橋
			下泉橋	中田橋	富田橋		
環境基準類型	BOD等	A	—	—	A	—	
生活環境項目	pH	7.7	7.8	7.8	6.5～8.5	—	
	DO (mg/L)	10	11	10	7.5以上	7.5以上	
	BOD (mg/L)	1.0	1.6	0.8	2以下	2以下	
	COD (mg/L)	—	—	—	—	—	
	SS (mg/L)	4	3	3	25以下	—	
	大腸菌群数 (MPN/100mL)	240,000	310,000	8,500	1,000以下	1,000以下	
	N-ヘキサン抽出物質 (mg/L)	—	—	—	—	—	
	全窒素 (mg/L)	—	—	—	—	—	
	全リン (mg/L)	—	—	—	—	—	
	全亜鉛 (mg/L)	—	—	—	—	—	
健康項目	カドミウム (mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003以下	0.003以下	
	全シアン (mg/L)	不検出	不検出	不検出	検出されないこと	検出されないこと	
	鉛 (mg/L)	0.001	0.001	0.001	0.01以下	0.01以下	
	六価クロム (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	0.05以下	0.05以下	
	砒素 (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	0.01以下	0.01以下	
	総水銀 (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005以下	0.0005以下	
	アルキル水銀 (mg/L)	—	—	—	検出されないこと	検出されないこと	
	PCB (mg/L)	不検出	—	—	検出されないこと	検出されないこと	
	ジクロロメタン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.02以下	0.02以下	
	四塩化炭素 (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002以下	0.002以下	
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004以下	0.004以下	
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.1以下	0.1以下	
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	0.04以下	0.04以下	
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	<0.1	<0.1	<0.1	1以下	1以下	
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006以下	0.006以下	
	トリクロロエチレン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下	0.01以下	
	テトラクロロエチレン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下	0.01以下	
	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002以下	0.002以下	
	チウラム (mg/L)	—	—	—	0.006以下	0.006以下	
	シマジン (mg/L)	—	—	—	0.003以下	0.003以下	
	チオベンカルブ (mg/L)	—	—	—	0.02以下	0.02以下	
	ベンゼン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下	0.01以下	
	セレン (mg/L)	—	—	—	0.01以下	0.01以下	
	ふっ素 (mg/L)	<0.08	<0.08	<0.08	0.8以下	0.8以下	
	ほう素 (mg/L)	<0.1	<0.1	<0.1	1以下	1以下	
	1,4-ジオキサン (mg/L)	<0.005	—	—	0.05以下	0.05以下	
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	4.4	3.5	5.2	10以下	10以下	

注1) 表中の値のBODは年間75%値、全シアンは最高値、その他は年平均値を示している。

注2) 表中の は、環境基準を超過していることを示している。

出典：「平成27年度公共用水域水質調査結果」（千葉市ホームページ）

対象事業実施区域及びその周辺における平成26年度の地下水質の概況調査の結果は表3-1.12に示すとおりである。

概況調査では若葉区大宮町の硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素で環境基準の超過がみられるものの、その他の地点ではすべての項目が環境基準に適合している。

また、要監視項目調査の結果は表3-1.13に示すとおりである。調査結果をみると、すべての項目が指針値に適合している。

なお、千葉市では汚染範囲の確認を目的として、汚染が確認された地区を対象に汚染確認調査を独自に行っている。汚染確認調査の結果は、表3-1.14に示すとおりである。調査結果をみると、有機塩素系化合物及び六価クロムにおいて環境基準を超過した井戸が確認されたものの、砒素についてはすべての地点で環境基準に適合している。

表 3-1.12 地下水質調査結果（平成 26 年度、概況調査）

項 目	地 点	千葉市					環境基準	環境目標値
		若葉区				緑区		
		多部田町	大宮町	古泉町	御殿町	高田町		
カドミウム	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.003以下	0.003以下
全シアン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと	検出されないこと
鉛	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01以下	0.01以下
六価クロム	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.05以下	0.05以下
砒素	(mg/L)	0.022	不検出	0.004	不検出	0.006	0.01以下	0.01以下
総水銀	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.0005以下	0.0005以下
アルキル水銀	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと	検出されないこと
PCB	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと	検出されないこと
ジクロロメタン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.02以下	0.02以下
四塩化炭素	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.002以下	0.002以下
塩化ビニルモノマー	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.002以下	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.0005	不検出	0.004以下	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.1以下	0.1以下
1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.04以下	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1以下	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.006以下	0.006以下
トリクロロエチレン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01以下	0.01以下
テトラクロロエチレン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01以下	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.002以下	0.002以下
チウラム	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.006以下	0.006以下
シマジン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.003以下	0.003以下
チオベンカルブ	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.02以下	0.02以下
ベンゼン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01以下	0.01以下
セレン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01以下	0.01以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	(mg/L)	0.2	11	5.3	9.8	不検出	10以下	10以下
ふっ素	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.8以下	0.8以下
ほう素	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1以下	1以下
1,4-ジオキサン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.05以下	0.05以下

注) 表中の は、環境基準を超過していることを示している。

出典：「平成26年度公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」（千葉県ホームページ）

表3-1.13 地下水質調査結果（平成26年度、要監視項目調査）

項 目		地 点	千葉市			指針値
			若葉区			
			多部田町	大宮町	古泉町	
クロロホルム	(mg/L)	-	-	-	0.06以下	
1,2-ジクロロプロパン	(mg/L)	-	-	-	0.06以下	
p-ジクロロベンゼン	(mg/L)	-	-	-	0.2以下	
イソキサチオン	(mg/L)	-	-	-	0.008以下	
ダイアジノン	(mg/L)	-	-	-	0.005以下	
フェニトロチオン	(mg/L)	-	-	-	0.003以下	
イソプロチオラン	(mg/L)	-	-	-	0.04以下	
オキシ銅	(mg/L)	-	-	-	0.04以下	
クロタロニル	(mg/L)	-	-	-	0.05以下	
プロピサミド	(mg/L)	-	-	-	0.008以下	
EPN	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.006以下	
ジクロルボス	(mg/L)	-	-	-	0.008以下	
フェノブカルブ	(mg/L)	-	-	-	0.03以下	
イプロベンホス	(mg/L)	-	-	-	0.008以下	
クロルニトルフェン	(mg/L)	-	-	-	-	
トルエン	(mg/L)	-	-	-	0.6以下	
キシレン	(mg/L)	-	-	-	0.4以下	
フタル酸ジエチルヘキシル	(mg/L)	-	-	-	0.06以下	
ニッケル	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	-	
モリブデン	(mg/L)	-	-	-	0.07以下	
アンチモン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.02以下	
エピクロロヒドリン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.0004以下	
全マンガン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.2以下	
ウラン	(mg/L)	0.0002	不検出	0.0002	0.002以下	

注1) 表中の は、指針値を超過していることを示している。

注2) 表中の「-」は調査を行っていない又は指針値が設定されていないことを示している。

出典：「平成26年度公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」（千葉県ホームページ）

表3-1.14 地下水質調査結果（平成27年度、汚染確認調査（千葉市独自））

調査項目	調査地区	調査本数	基準超過本数 (測定地点)	環境基準
有機塩素系化合物	稲毛区	9	2 (稲毛区長沼原町)	— 注)
六価クロム	中央区	250	19 (中央区生実町)	0.05mg/L 以下
砒素	稲毛区	8	0	0.01mg/L 以下

注) 有機塩素系化合物に属する複数の物質を対象に調査を行っており、物質ごとの情報を公表していないため、環境基準を記載していない。

出典：「平成27年度地下水水質調査結果」（千葉市ホームページ）

また、対象事業実施区域及びその周辺の水質のダイオキシン類については、対象事業実施区域から半径約5kmの範囲に調査地点が存在しないことから、最寄りの調査地点である鹿島川の岩富橋（対象事業実施区域の北東約8.5km）の測定結果を用いて把握した。過去5年間における測定結果は表3-1.15に、測定地点は図3-1.10に示すとおりである。

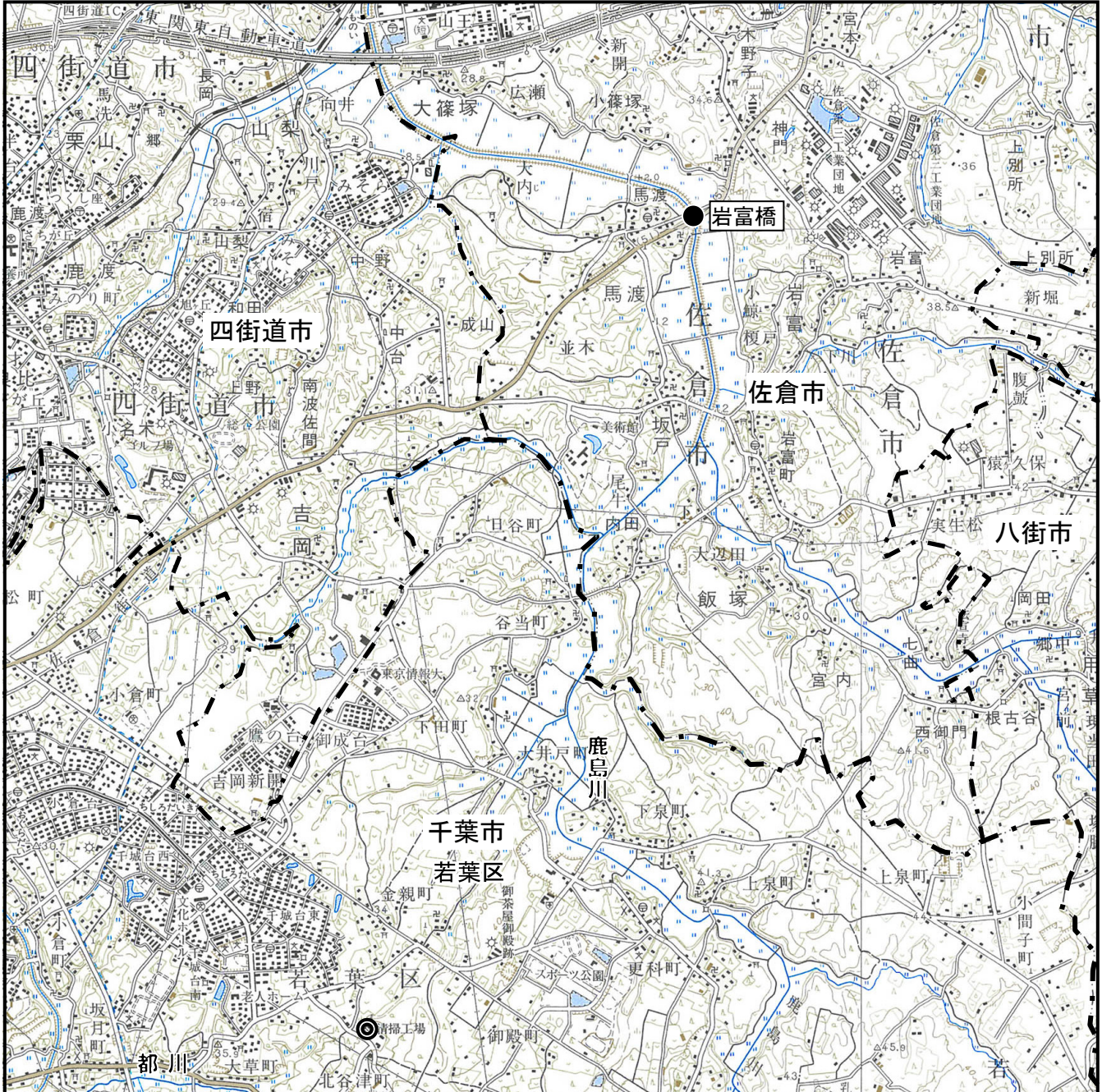
平成27年度の測定結果は0.23pg-TEQ/Lとなっており、環境基準（年平均値が1pg-TEQ/L以下）に適合している。また、平成23年～27年度の年平均値は0.13～0.27pg-TEQ/Lであり、すべての年度で環境基準に適合している。

表3-1.15 ダイオキシン類の測定結果（水質）

単位：pg-TEQ/L

区分	水域名	地点名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	環境基準
河川	鹿島川	岩富橋	0.13	0.14	0.27	0.27	0.23	1 以下

出典：「ダイオキシン類に係る常時監視結果について（平成23～27年度）」（千葉県ホームページ）



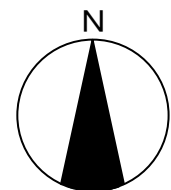
凡 例

- ◎ 対象事業実施区域
- - - 市境
- ダイオキシン類調査地点
- 河川
- 貯水池等

出典：「ダイオキシン類に係る常時監視結果について（平成23～27年度）」（千葉県ホームページ）

この地図は、国土地理院発行の1：50,000地形図「千葉」「東金」「佐倉」「成田」を使用し、1：60,000の縮尺に編集したものである。

図 3-1.10 ダイオキシン類測定地点図（水質）



1 : 60, 000

0 600m 1km 2km

3-1-4 水象の状況

対象事業実施区域及びその周辺の主要な河川は表3-1. 16に、河川等の状況は図3-1. 11に示すとおりである。

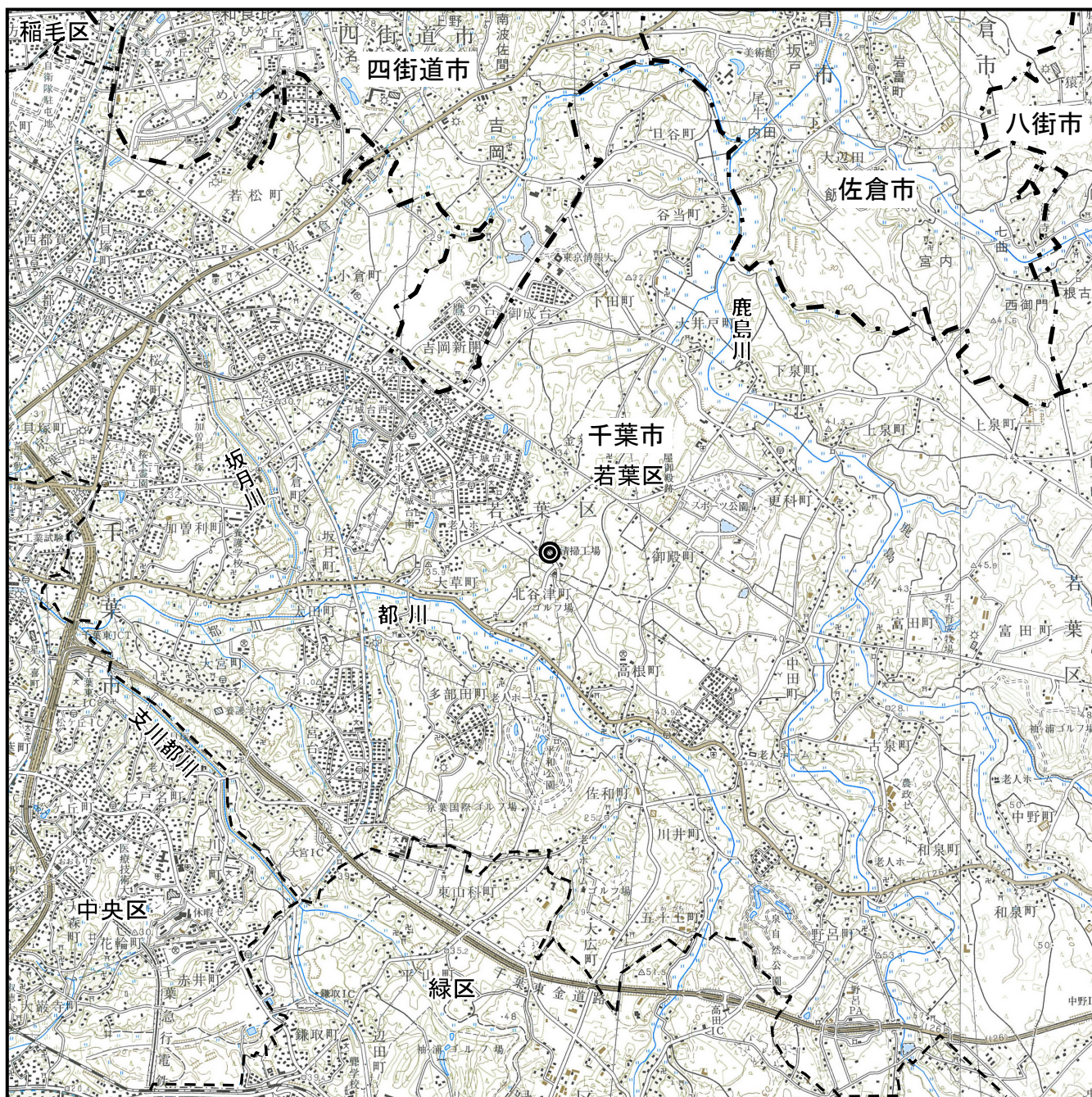
対象事業実施区域及びその周辺の主要な河川としては、対象事業実施区域東側に鹿島川が流れており、印旛沼に流入している。また、西側を流れる支川都川、坂月川は都川に合流している。

表3-1. 16 主要な河川

種別	水系名	河川名	市内流路延長 (m)	流域面積 (km ²)
一級河川	利根川	鹿島川	2,000	251.90
二級河川	都川	都川	13,051	71.65
		支川都川	6,550	△12.64 ^{注)}
		坂月川	3,100	△8.02 ^{注)}

注) △を付した流域面積は、都川の流域面積に含まれることを示している。

出典：「千葉市統計書（平成27年度版）」（平成28年3月 千葉市）

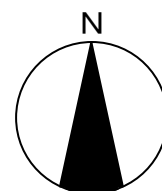


凡 例

- 対象事業実施区域
- . - 市境
- - - 区境
- 河川
- 貯水池等

出典：「千葉市統計書（平成 27 年度版）」（平成 28 年 3 月 千葉市）

この地図は、国土地理院発行の 1：50,000 地形図「千葉」「東金」を使用し、1：60,000 の縮尺に編集したものである。



1：60,000

0 600m 1km 2km

図 3-1.11 水象の状況

3-1-5 水底の底質の状況

対象事業実施区域及びその周辺では、水底の底質の調査は実施されていない。

また、対象事業実施区域及びその周辺の底質のダイオキシン類について、対象事業実施区域から半径約5kmの範囲に調査地点が存在しないことから、最寄りの調査地点である鹿島川の岩富橋（対象事業実施区域の北東約8.5km）の測定結果を用いて把握した。過去5年間における測定結果は表3-1.17に、測定地点は図3-1.12に示すとおりである。

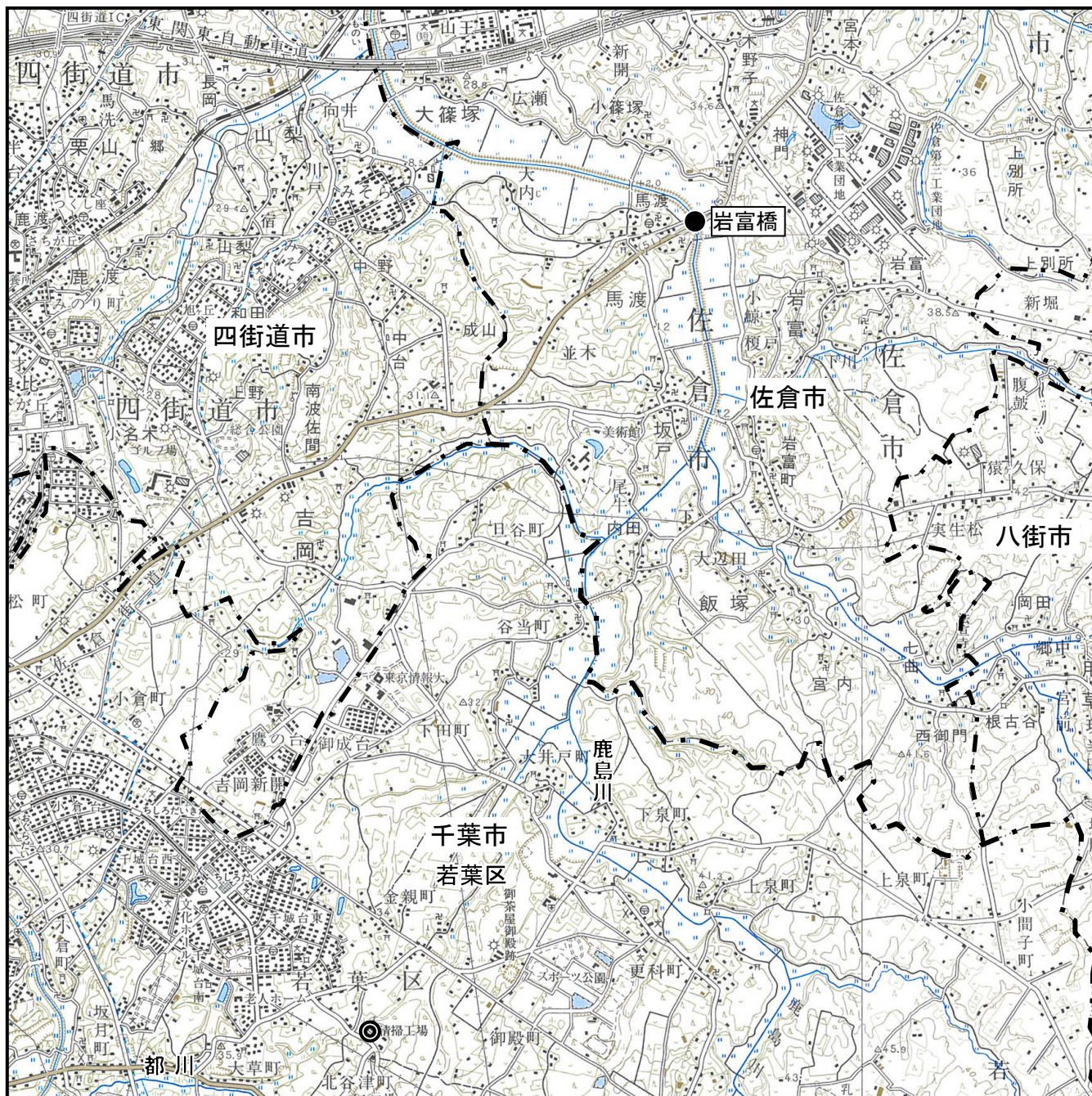
平成27年度の測定結果は、0.76pg-TEQ/gとなっており、環境基準（150pg-TEQ/g以下）に適合している。また、平成23～27年度の年平均値は0.42～0.76pg-TEQ/gであり、すべての年度で環境基準に適合している。

表3-1.17 ダイオキシン類の測定結果（底質）

単位：pg-TEQ/g

区分	水域名	地点名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	環境基準
河川	鹿島川	岩富橋	0.42	0.47	0.44	0.16	0.76	150以下

出典：「ダイオキシン類に係る常時監視結果について（平成23～27年度）」（千葉県ホームページ）

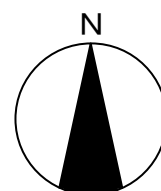


凡 例

- ◎ 対象事業実施区域
- - - 市境
- 河川
- 貯水池等
- ダイオキシン類調査地点

出典：「ダイオキシン類に係る常時監視結果について」（千葉県ホームページ）

この地図は、国土地理院発行の1：50,000 地形図「千葉」「東金」「佐倉」「成田」を使用し、1：60,000 の縮尺に編集したものである。



1 : 60,000

0 600m 1km 2km

図 3-1.12 ダイオキシン類測定地点図（底質）

3-1-6 騒音及び低周波音の状況

対象事業実施区域及びその周辺における一般環境騒音の調査結果は表 3-1. 18 に、調査地点は図 3-1. 13 に示すとおりである。調査結果をみると、すべての地点において環境目標値を達成している。

表3-1. 18 一般環境騒音調査結果（平成26年度）

単位：デシベル

調査地点名	所在地	地域 類型	測定結果		環境目標値	
			昼間 ^{注)}	夜間 ^{注)}	昼間 ^{注)}	夜間 ^{注)}
千城台東 第四公園	千葉市若葉区 千城台東3丁目24	A	47	39	55	45
ほおじろ台 第2公園	千葉市若葉区 加曾利町1800-27	B	50	41		
大宮北公園	千葉市若葉区 大宮町2880-209	B	48	42		

注) 昼間の時間区分は6:00～22:00、夜間の時間区分は22:00～6:00である。

出典：「平成27年版千葉市環境白書」（平成27年12月 千葉市）

また、対象事業実施区域及びその周辺では、道路交通騒音について、住宅の立地状況を考慮した面的評価と、騒音規制法に基づく要請限度に係る調査が行われている。

面的評価の調査結果は表3-1. 19に、対象区間は図3-1. 13に示すとおりである。調査結果をみると、「道路に面する地域の騒音に係る環境基準」において、昼間・夜間とも基準値以下の割合が75.9～100.0%となっている。

対象事業実施区域及びその周辺における要請限度に係る調査結果は表3-1. 20に、調査地点は図3-1. 13に示すとおりである。調査結果をみると、要請限度以下の値となっている。

なお、対象事業実施区域及びその周辺において低周波音の調査は行われていない。

表3-1.19 道路交通騒音調査結果（面的評価、平成26年度）

道路名	観測地点の住所	評価区間の住所	等価騒音レベル (デシベル)		評価 区間の 延長 (km)	昼間・ 基準値 以下 とも	昼間 のみ 基準値 以下	夜間 のみ 基準値 以下	昼間・ 基準値 超過 とも
			昼間 ^{注)}	夜間 ^{注)}		(%)	(%)	(%)	(%)
一般国道16号	千葉市 若葉区加曽利町	千葉市若葉区加曽利町 ＼ 千葉市若葉区加曽利町	57	53	0.4	100.0	0.0	0.0	0.0
一般国道51号	千葉市 若葉区若松町	千葉市若葉区桜木北1丁目 ＼ 千葉市若葉区若松町	68	65	2.3	76.7	23.3	0.0	0.0
一般国道126号	千葉市 中央区都町2丁目	千葉市若葉区加曽利町 ＼ 千葉市中央区中央2丁目	70	68	2.6	76.4	21.4	1.9	0.3
主要地方道 千葉大網線	千葉市 中央区仁戸名町	千葉市中央区松ヶ丘町 ＼ 千葉市緑区鎌取町	70	68	4.3	85.6	13.1	0.0	1.3
主要地方道 浜野四街道長沼線	四街道市上野	四街道市吉岡 ＼ 四街道市鹿渡	71	69	4.8	75.9	10.4	0.0	13.7
主要地方道 千葉八街横芝線	八街市八街	八街市八街い ＼ 八街市八街ほ	71	67	6.8	87.2	0.3	0.0	12.5

注) 昼間の時間区分は6:00～22:00、夜間の時間区分は22:00～6:00である。

出典:「平成27年版環境白書」(平成28年2月 千葉県)

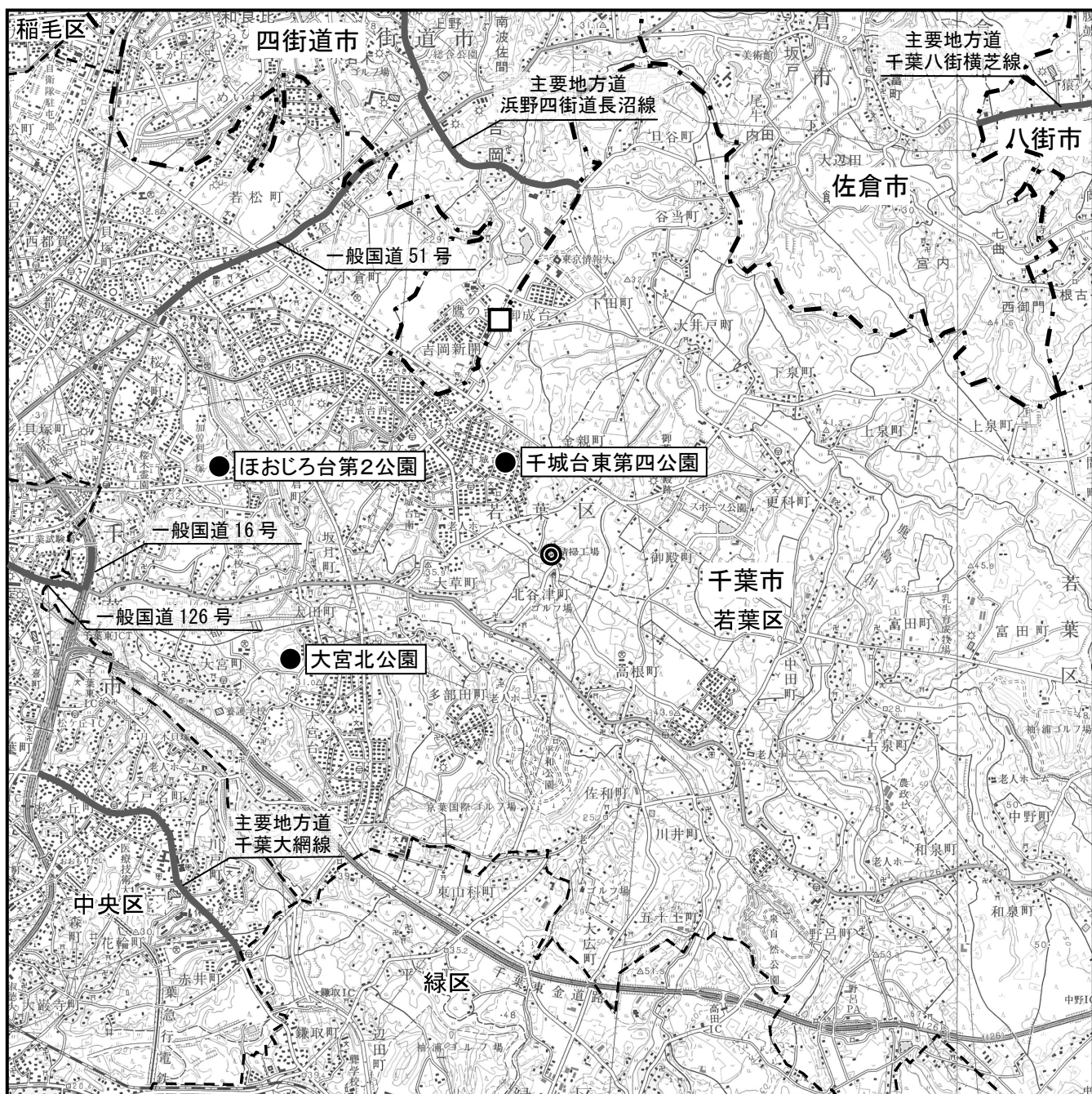
表3-1.20 道路交通騒音調査結果（要請限度、平成26年度）

道路名	測定場所	等価騒音レベル (デシベル)		要請限度判定 ^{注2)}
		昼間 ^{注1)}	夜間 ^{注1)}	
市道下田町7号線	千葉市若葉区御成台3	64	57	○

注1) 昼間の時間区分は6:00～22:00、夜間の時間区分は22:00～6:00である。

注2) 要請限度（昼間75デシベル、夜間70デシベル）以下の場合は○を表示している。

出典:「平成27年版環境白書」(平成28年2月 千葉県)

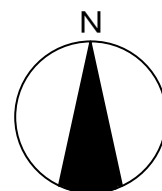


凡 例

- 対象事業実施区域
- · — 市境
- 区境
- 一般環境騒音調査地点
- 面的評価対象区間
- 要請限度調査地点

出典：「平成27年版環境白書」（平成28年2月 千葉県）
「平成27年版千葉市環境白書」（平成27年12月 千葉市）

この地図は、国土地理院発行の1：50,000地形図「千葉」「東金」を使用し、1：60,000の縮尺に編集したものである。



1 : 60,000

0 600m 1km 2km

図 3-1.13 騒音調査地点

3-1-7 振動の状況

対象事業実施区域及びその周辺における道路交通振動の調査結果は表3-1. 21に、調査地点は図3-1. 14に示すとおりである。

調査結果をみると、いずれの地点も要請限度以下の値となっている。

なお、対象事業実施区域及びその周辺では、環境振動の調査は実施されていない。

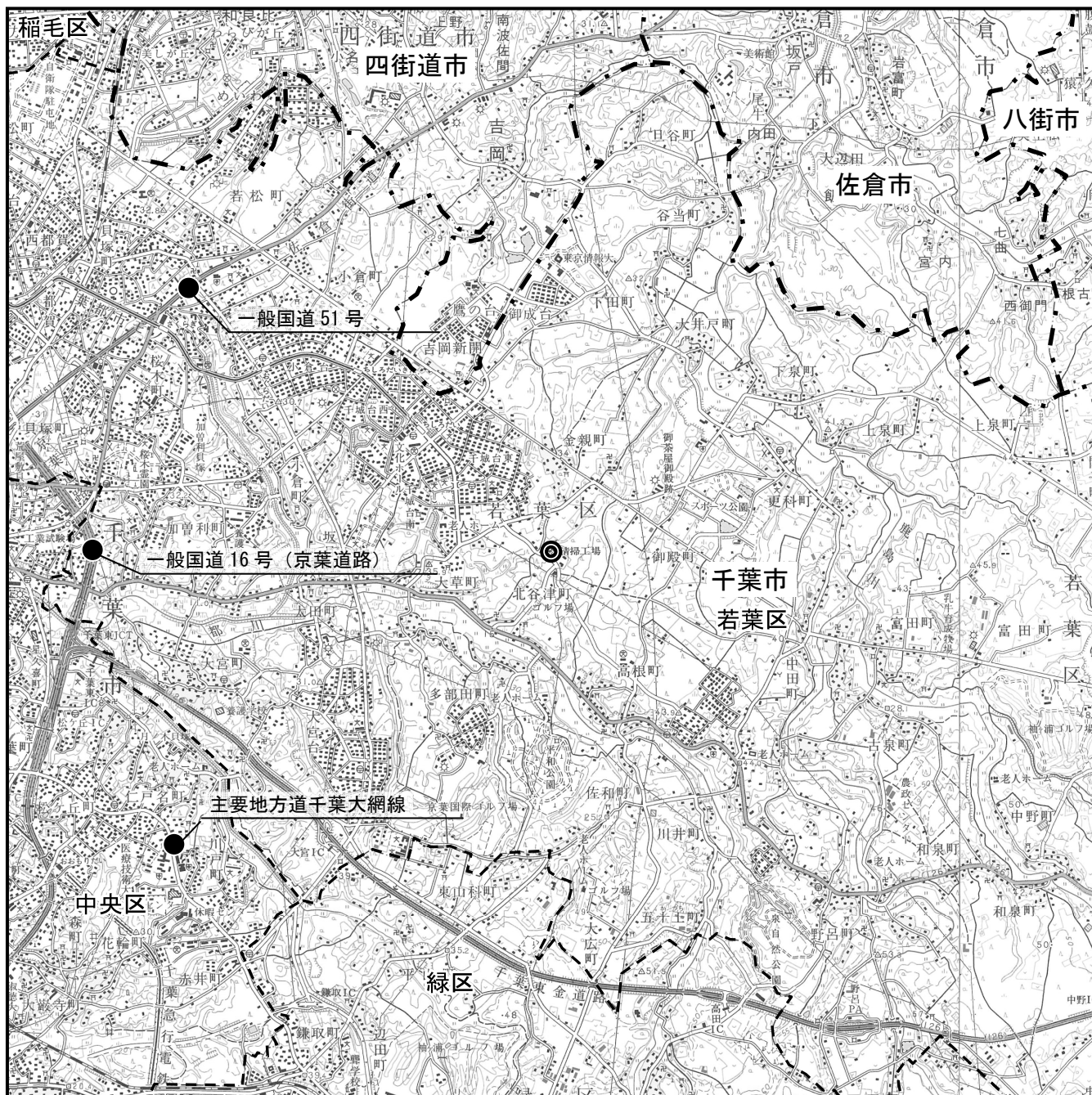
表3-1. 21 道路交通振動測定結果（80%レンジ上端値、平成26年度）

道路名	測定場所	振動レベル (デシベル)		要請限度判定 ^{注2)}
		昼間 ^{注1)}	夜間 ^{注1)}	
一般国道16号 (京葉道路)	千葉市若葉区加曽利町	46	43	○
一般国道51号	千葉市若葉区若松町	50	48	○
主要地方道 千葉大網線	千葉市中央区仁戸名町	52	49	○

注1) 昼間の時間区分は8:00～19:00、夜間の時間区分は19:00～8:00である。

注2) 要請限度（昼間65デシベル、夜間60デシベル）以下の場合は○を表示している。

出典：「平成27年版千葉市環境白書」（平成27年12月 千葉市）

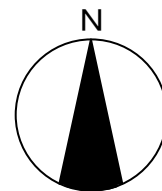


凡 例

- ◎ 対象事業実施区域
- · — 市境
- 区境
- 道路交通振動調査地点

出典：「平成27年版千葉市環境白書」（平成27年12月 千葉市）

この地図は、国土地理院発行の1：50,000地形図「千葉」「東金」を使用し、1：60,000の縮尺に編集したものである。



1 : 60, 000

0 600m 1km 2km

図 3-1.14 道路交通振動調査地点